

地図帳で宮崎県を調べようー産業記号から特色を読み取る

宮崎市立檜中学校 佐藤 省吾



帝国書院『中学校社会科地図(初訂版)』p.73～74

宮崎県は、キャンプをするプロ野球やJリーグのチームが多い(平成18年には、プロ野球12球団中5球団(2軍のみを含む)、Jリーグ30チーム中13チーム)。これは、充実したスポーツ施設が多いという条件を備えているうえに、自然条件が練習をするのに適しているのではないかと問いかける。

その自然条件を産業から調べてみよう、帝国書院『中学校社会科地図(初訂版)』(以下、地図帳)p.73～74を開いて、宮崎県部分から産業記号を抜きださせる。

- ①工業の記号は、延岡市の「化学せんい」や清武町の「集積回路」、日南市の「紙」の三つしかない。
- ②都城市から小林市、えびの市にかけて、「肉牛」「ぶた」の記号が集まる。

- ③宮崎平野を中心に、「ピーマン」「きゅうり」の記号が多い。それらは、「ハウス栽培のさかんなところ」とされている。

この3点は、宮崎県の産業の特色である。

(1) 工業について

日本の統計①(地図帳p.135～136)を調べると、「工業生産」が宮崎県より少ない県は、5県しかない。工業はさかんではない。

(2) 畜産について

同統計②で、「肉牛」「ぶた」さらに「にわとり(ブロイラー)」の宮崎県の生産を確認させる。宮崎県は日本有数の畜産県である。

(3) ハウス栽培について

宮崎県のピーマンの生産量は、全国1位である。特に宮崎平野でさかんである。栽培は、下の資料のとおりハウス栽培が中心である。



帝国書院『中学校社会科地図(初訂版)』p.77

このことから、冬期の宮崎平野は他の地域と比べ、次のような自然条件があることに気づかせたい。

- ①気温が低くない(冬でも温暖)。
- ②日照時間が長い(晴れの日が多い)。

ハウス栽培ができる理由と、プロスポーツのキャンプが多い理由が同じであることから生徒の興味をわかせる、さらに詳しい自県学習へつなげたいと思う。